

# 尚徳寮

令和元年12月24日

鳥取大学附属中学校

No. 10

10月から始まった後期は本日授業終了日を迎え、明日から13日間の冬休みに入ります。生徒たちには生活リズムを崩すことなく、有意義に過ごしてほしいと願っています。1・2年生には家の手伝いなどで、家族の一員としての自覚を持たせてやっていただけたらと思います。3年生は、年明けには各私立・県立高校の入試を控えています。それぞれの進路実現に向けて充実した冬休みとなるよう祈念します。

保護者の皆様には、今年一年、様々な形で学校の教育活動を支えていただき、ありがとうございました。来年はいよいよオリンピックイヤーです。皆様、良いお年をお迎えください。



## 文化祭 展示の部開催

## 第2回授業参観、講演会開催



10月にとりぎん文化会館で開催したステージの部に引き続き、文化祭展示の部を10日（火）から16日（月）まで本校多目的ホールを中心に開催しました。ステージの部と展示の部の二部構成で実施するのは、展示を生徒もじっくりと鑑賞するためです。期間中は後期懇談会も実施され、多くの保護者の方にもご覧いただけたことと思います。文化祭は、教科や部活動で学習した成果を発表する場、表現する場です。どの作品も今までの学習の積み上げを感じさせる素晴らしいものでした。



11月30日（土）、第2回授業参観日を開催しましたところ、大変多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

授業公開の後は、教育懇話会研修部主催の講演会を行いました。講師に鳥取大学附属学校部スクールカウンセラーの石本志穂先生をお招きし、「思春期の子どもを支える」と題してお話をいただきました。

思春期の特徴、解決思考で思春期の子どもを支える、専門機関とのつきあい方などについて、事例を挙げながらお話をいただきました。SNS等の影響で、親の世代と今の子どもたちでは思春期のあり方も変化が見られるなど、なるほどと納得させられました。

石本先生は、附属学校部4校園を担当するカウンセラーで、中学校には毎週金曜日来ていただいています。何か相談されたいことがありましたら、お気軽に学校までご連絡ください。



# 1年生～キャリア・メッセージ2019～

12月5日（木）1年生を対象に「キャリアメッセージ2019」を開催しました。これは、社会人・職業人による体験談や専門的講話を聞くことを通して、働くことの意義や自分の生き方について考え、目的意識をもって学校生活を送っていく意欲を高めることをねらいとしています。

この取り組みの特徴は、教育懇話会役員の方が、生徒に聴かせたい講師のリストを作成し、役員自らが講師に依頼する点です。本年度も8名の様々な職業の方においでいただきお話を聞いたり、質問したりしました。どの講師の方もメッセージ性の高いお話をしていただきました。また、当日は代表を中心に、生徒が運営を行い、懇話会役員の方にも各講座に1人ずつ付いていただきました。生徒の感想を抜粋していくつか紹介します。

## ☆講師 吉田 智さん 「ドローンの未来」より

仕事をする上で「情熱、熱意、執念」が必要だということを知りました。開発や研究などをする仕事では私は特に「熱意」が大切だと思いました。熱意があればなかなか結果が出なくても、いやな作業があっても、楽しんですることができると思ったからです。



## ☆講師 濱橋 悟さん 「キャリアメッセージ 西高英語教師より」

私は正直なところ英語が苦手で、夏休みにALTの先生と勉強する宿泊研修に参加しましたが、全く通じませんでした。でも、この講座で文法や単語よりも、「大きな声で伝える」ことが一番大切だということがわかりました。失敗した先に何かがあるなと思うことができました。

## ☆講師 若松 信宏さん 「税理士という仕事について」より

私は特に「仕事を通じて幸せだと思える仕事についてほしい」という言葉が印象に残っています。私はまだなりたい仕事が見つからないけれど、私もやっていて、楽しさ、幸福を感じられるような仕事がよいと改めて思いました。

## ☆講師 木下 大さん 「鳥取の広告デザインとその未来」より

私は、デザインとは、人々の思いを形にし、依頼されたことにふさわしいものを作り、ヒト・モノ・コトをつなげる仕事だと感じました。また、「自信が持てるまで挑戦する」ところや「細部までこだわる」といった、木下さんの人柄にとっても感動しました。



## ☆講師 西尾 良枝さん 「銀行の仕事と私のやりがい」より

「お客様の笑顔」のために仕事を続けているとお聞きし、自分のやりたいことを努力し続けるためには、原動力が大事だと思いました。相手の立場になって考え、そこからどう行動すればよいかを考え、実現していくことが成功のきっかけであり、やりがいにもつながるのだと思いました。

## ☆講師 定常 菜都子さん 「伝えるということ」より

約2分ほどの原稿でも、2時間半くらい練習したりと、とても大変な分、やりがいを感じる仕事でもあることがわかりました。伝えるということが、ここまで奥深いものだとは知らなかったし、同じ言葉でも表情や緩急の付け方で伝わり方が大きく変わることを知りました。

## ☆講師 藤田 和俊さん 「『自分』を生きる」より

私は、将来の夢はどうやって決めたらいいのかなと思っていましたが、自分の中心にあるものを考え職に就いた人は、その仕事を天職といったと聞いて、自分の夢が少しだけ見えた気がしました。



## ☆講師 徳吉淳一さん 「薬剤師の仕事について」より

お話の中で一番心に響いたのは、「好きだから仕事をするのもだけど、一生懸命仕事をして好きになっていくのもいい」という言葉です。「今やるべきことをちゃんとして土台を作っておけば大丈夫」という意見を聞いてとても安心しました。